



学生に警察の仕事語る

昨年から、愛知学院大で

警察官を志望する学生に仕事への理解を深め、人生設計に役立ててもらおうと、愛知県警は昨年からは、愛知学院大（日進市）と協力して、現役の警察官らが仕事の意義や働く環境について語る「キャリア・デザイン支援連続講義」を始めた。

15～17日に名古屋市で開かれた講義には1～3年の男女約60人が参加。刑事、交通、地域など各部所属の警察官や警察職員の話に耳を傾けた。

「女性活躍」をテーマに

講演した警務課の落合実樹警部(49)は、子育てと両立させて警察学校の教官を務めた自身の経験を紹介。

「子育てしながら働く女性警察官も多くなり、現在は女性幹部も警視級4人、警部級13人と増えてきている」などと説明し、育児のための時短勤務制度なども紹介した。

参加した3年の小塚知歩さん(20)は「結婚しても働けるのか気になっていた。『女性でも努力すれば昇進できる』と聞き、安心しました」と話した。